

思いをつなげる。 街を動かす。

第2号

港区をよくする

20のアイデアを追加しました! 

／ まず、僕らが動かなきゃ。 ／



よこ お
横尾としなり

ホームページもご覧下さい。

<http://www.ecotoshi.jp>

twitter:@ecotoshi

こんにちは、^{よこお}横尾としなりです。

港区に住み、港区で活動する30歳。

「いずれ誰かがやってくれる」ではなく、まず自分から動くことにしました。

僕はこの五年半、赤坂の広告会社で働いていました。そして、仕事やNPO、ボランティアなどでこの街に深く関わっていくにつれ、港区にはもっとできることがあるんじゃないか、今しなければならなかったことがあるんじゃないかと思い、会社を辞め、街づくりに取り組もうと決意しました。

実は最近、「社会のために何かしたい。でもやり方が分からない・機会がない」という人が増えています。

今の世の中、解決しなければいけない課題は山ほどあります。でも、良いところだって実はあるんです。既に社会のために頑張っている人もたくさんいる。僕はそうした動きにこそ目を向けて、良いところを伸ばすことに挑戦したいと思います。

意欲のある人と行政をしっかりと結びつける。その仕組みをつくれば、限られた予算で多くの課題を解決し、街を良くできると考えています。

具体的には、企業やNPOの活動、町会や商店会の新しい動きなど、僕が率先して動き回って港区にある「良い芽」を伝え、つなげて、夢を持つ人たちに活躍の場をつくりたいと思います。そこに若者もどんどん巻き込みます。そうすることで、税金を無駄にせず、可能性のある芽を街づくりに活かせるはずです。

時代をただ嘆くのではなく、ポジティブに身近な街のことから考え、アイデアを膨らませてみる。政治のことも、まじめに考えてみる。僕は自分が住む港区で、できることから始めたいと思います。もしご賛同いただけるなら、皆さんにも仲間になって欲しい。こうした活動が広がれば、日本はきっと良くなる。そう信じています。

かなり、本気です。



こんにちは、 よこ お 横尾としなりです。

**一人ひとりの気持ちをくみとった活動をつくること。
また、様々な人の協力を得てそれを広げる仕事をしてきました。**

僕は学生時代、自ら学生団体を立ち上げたり、様々なNPOに参加したりするなど、草の根から世の中に良い影響を与えることを目指し、活動してきました。広告会社に入ってから、コミュニケーションの力を利用して、一つの活動を世の中の関心ごとにする“仕組みづくり”を行っていました。どちらも、様々な立場の人とともに、一人ひとりの思いを大きな活動にしていくというものでした。

世の中にポジティブな行動の連鎖をつくっていきたい。

これまでの経験から、世の中には良いことをしている人や組織がたくさんあるということを知りました。でも、それらが多くの人に知られていないために、一部の小さな活動で終わってしまっているという現実にも直面しました。もったいない！ポジティブにそれらの活動をつなげることができれば、一人ひとりの「社会を変えたい」「街を何とかよくしたい」という気持ちが連鎖を始めて、大きな活動になると考えています。

港区には本来、それをできる力がある。

街のひととのふれあいや仕事を通して、港区はこれまで新しい文化をつくったり、新しい生活を提案したりしてきた街だということを再認識しました。港区は日本の情報発信源。価値のある活動をつくれば、日本へ世界へ、それがどんどん広がっていく可能性を持っています。また、その使命のある街だと思います。

行政が良い芽を活かし、つなぎ、育てる場をつくれば、街は必ずよくなります。

ポジティブな連鎖が起こった例として、僕が仲間と立ち上げた「グリーンバード赤坂チーム」があります。この活動は、社会のために何かをしたいという若者と赤坂の町会・商店会を街の清掃活動で結び、新たな力を生み出しています。人と人を上手につなげることは、街が抱える多くの問題（子育て、教育、高齢化、労働力不足、税収問題など）を解決する糸口になる、僕はそう信じています。

こんな時代だからこそ、一人ひとりが身近なことから自分にできることを考える。

街のことを、日本のことを、子どもや若者の将来を、お年寄りの生活を考える。

そして、誰もが希望を持てる未来のために、ちょっとだけ動いてみる。行政は、それを最大限支援する。いろいろなことを長い目で捉えて、みんなで見守り、育てる環境ができれば素敵ですね。

僕と一緒に、港区から新しい一歩を踏み出しませんか？

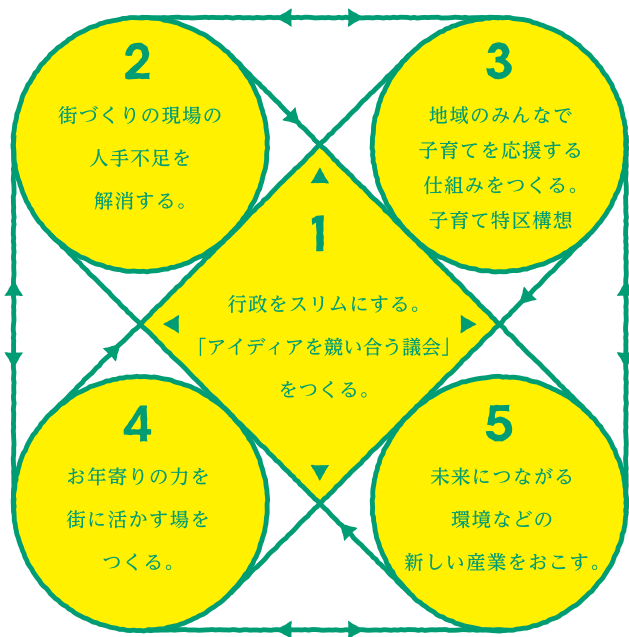
人と人を上手につなげる、結ぶ。

それが僕のアプローチ



僕が「街のプロデューサー」となり、企業やNPO、町会・商店会などの力をつなげて、
行政に活かしていきます。

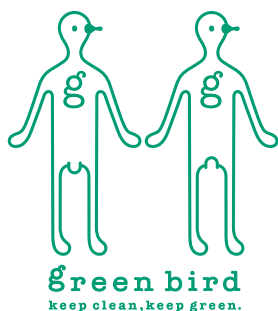
多くの予算を使わなくても、街の“資源”をもっと有効に活用すれば、
解決できる課題はたくさんあるのです。



誰もが参加しやすい
仕組みをつくりまします。



一人ひとりの活動がポジティブに連鎖している例：グリーンバード



●赤坂に移ったばかりの博報堂が街にもっと貢献すべきとの思いから、博報堂の仲間や TBS の方々とともに「グリーンバード赤坂チーム」を立ち上げました。町会・商店会の方々や学生さんをはじめとした多くの人と、毎月赤坂の清掃活動を行っています。また、積極的に街のイベントにも協力しています。

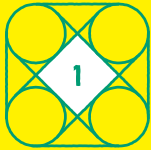
●現在は、グリーンバード事務局の副代表として、北は北海道から南は沖縄まで日本全国とパリ・スリランカに広がる約 32 のチームを統括しています。商店会や町会の抱える人材不足を解消し、様々なアイデアで街の活性化に一役買っています。モットーは「キレイな街は人の心もキレイにする」です。たとえば、「福岡チーム」では、行政の委員会に入ったり、「グリーンバード農園」という都市郊外型の農園をつくったりもしているんですよ。

●東北地方太平洋沖地震が起きた今、全国のグリーンバードは「仙台チーム」やその周りの方々へ募金や物的支援などの活動を行っています。※募金のサイトはこちら → <http://justgiving.jp/c/1604>

詳しくは、<http://www.greenbird.jp> をご参照ください。

港区をよくする20のアイデア

1年間に5個、4年間で20個の実現を目指します！



行政をスリムにする。「アイデアを競い合う議会」をつくる。

行政が全て抱え込まずに、企業やNPO、町会や商店会などに任せ方が良いこともたくさんあります。

「街の住民力」を最大限支援します。また、議員が「具体的なアイデア」を競い合う議会へ、僕が変えていきます。



行政すっきり プロジェクト



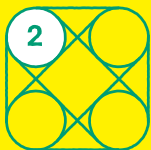
何のしがらみもない新人という立場で、予算の使い方や事業主体、事業のあり方を検証するプロジェクトチームを立ち上げます。企業に勤めていた者としての目で、行政、企業、NPO、どこがその事業をやるのが最も効率が良いのかを考え、事業主体を行政から民間に大胆に移していきたいと思います。



青空議会



議会を年に4回、青空の下に解放し、誰もが気軽に傍聴できるようにします。買い物帰りに立ち寄れる、そんなカジュアルな場にしていきたいと思います。インターネットなどを使った生中継なども導入。みんなに注目されれば、議員も襟を正して仕事するはず！今は年にたった数件の議員立法も、増やしていければと思います。



街づくりの現場の人手不足を解消する。

港区ならではの資源を有効に活用します。「社会のために自分の力を役立てたい」と考える

たくさんの人を街づくりに巻き込むのと同時に、将来、この街を担っていく人材を育てていきます。



総合的な震災対策／ 老若男女、みんなが参加しやすい防災訓練



東北地方太平洋沖地震では、港区にもたくさんの帰宅困難者が出ました。はじめて経験する事態に、街はちょっとしたパニック状態でした。有事の際は、まさに助け合いが大切。今回は飲食店やコンビニ、その他の企業やボランティア団体がそれぞれのやり方で即座に対応に当たったけれど、「地域の絆が薄い」と言われる時代だからこそ、こういう時のために何をすべきか、きちんと準備しておく必要があると感じました。高層・低層問わず住宅の総合的な震災対策をより強く推進したり、港区で生活する全ての人のために分かりやすい携帯式の災害マニュアルや安全マップを作成したりするのは、必ずやらなければならないこと。それに加えて、今のうちから老若男女みんなが参加しやすい、港区をあげての実践的な防災訓練を実施することや地域の防災チームを結成することも必要だと思います。



みなと学舎(仮)



町会や商店会の人手不足に「社会のために何かしたい」と考える人たちの需要を組み合わせ、街の課題を解決していきます。お手本は、2003年に渋谷区がつくった「シブヤ大学」。街の人が時には受講者になり、時には先生になる。みんなで学び、みんなで教える場、みんなが街づくりに参加する場の始まりです。地域を担う人材を、地域で育てる。そんなふうになったら、素敵だと思います。

「みなとトーク」、開催しています！

港区の未来について考える「みなとトーク」。2011年2月26日に麻布十番のカフェで開催したのを皮切りに、定期的を実施することになりました。港区が好きな人が集まって議論し、それを政策にしていく。みんなで考え、みんなで実行する場の始まりです。誰でも参加可能。持ち物は「港区に対するキモチ」だけ。ぜひ気軽にお立ち寄りください！詳しくは僕のホームページまで。

<http://www.ecotoshi.jp>



社会起業家 輩出特区



この街で働き、街づくりに関わっていかうとする起業家や学生を、街をあげて全面的にバックアップします。家賃の補助や区にある遊休地の貸し出し、シェアハウスなどの補助に加えて、将来的には税などの優遇施策も検討したいと思います。若い世代にコミュニティ参加を促しつつ、「社会起業家」がたくさん生まれ、育つ街：「社会起業家版シリコンバレー」をつくります。

社会起業家って何？

社会変革の担い手として街の抱える課題を事業を通じて解決すること。社会問題を認識し、その変革を起こすために起業という手法をとります。これまでのように経済的な価値だけでなく、どれだけ社会にインパクトを残したか、いいことをしたかに重きを置いています。我がグリーンバードの長谷部健さんもその一人。最近では、フローレンスの駒崎弘樹さん、Table for Two の小暮真久さんなどが有名です。お二人とも、企業を辞めて独立したんですね。社会を良くしようと頑張っている人たちの背中を押すことが、またそういう人が次々と生まれる土壌をつくるのが、これからのカッコいい行政のあり方だと思います。



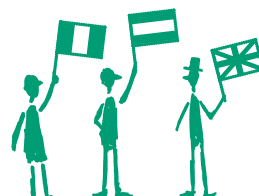
ランナー & 自転車専用レーン



歴史や文化の魅力でいっぱいの港区を多くのランナーの方に走ってもらえるように、一部に専用レーンを設けます。歩行者の安全を確保することと観光資源を知ってもらうことを同時に実現します。



大使館物産展



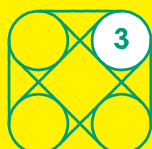
港区には 70 を超える大使館が集まっています。その一部をお借りして、もしくは港区にある空きスペースを利用して、各国の物産展を開催します。世界の物に日々触れることができれば素敵ですね。1 週間単位で大使館をリレーしていけば、港区では一年中「大使館物産展」が開催されることに！



みなと 釣り銭クラブ



東北地方太平洋沖地震では、日本中からたくさんの支援が被災地に届けられています。日本にも、寄付の文化が育ってきています。たとえば、今回も大きな役割を果たしている NPO 法人チャリティ・プラットフォームのような団体と協力して、スポーツ施設など区営の施設を中心に、港区全体に募金箱を設置します。寄付金は、防災対策、バリアフリー施設の整備やユニバーサルデザインの採用など、年齢や障害の有無に関わらず誰もが安心して暮らせる街をつくるための費用などにあてていきます。



街じゅう保育園



お母さんたちの集まりに行くたびに深刻さを痛感する子育て環境。その改善を急ぎます。働きながら子育てをするお母さん、お父さんの負担を軽減します。保育園の新設と許認可数の増加、保育士さんの待遇改善、育児休業制度の充実などの総合的な対策で、待機児童数ゼロのために動きます。とはいえ、上記全てを実現するには一定の時間が必要です。今困っている方がすぐに利用できるような環境も整えたいと思います。駐車場やマンションの一室などの空きスペースを利用して、きちんと訓練された保育士さんや街の方とともに、一時預かりのための保育施設を新設します。たとえば、駐車場の空中を 10 年間限定の定期借地として契約し、安価で再利用のきくパネル工法を採用して保育施設に。NPO 法人フローレンスなど、子育てに携わる企業や NPO には積極的に参入していただきたいと思います。



やんちゃし放題の公園



子どもが伸び伸びと遊び、発想力が刺激されるような新しい形の公園づくりを検討します。子どもは友だちや大人など、様々な人とのふれあいや自然との親しみや遊びを通して成長するものだと思います。もし身近にそんな公園があれば、子どもはゲームを置いて、外に駆け出していくのではないのでしょうか。たとえば、渋谷区の代々木公園内にある「はるのおがわブレイパーク」のように、地域の大人みんなが見守りつつも「自分の責任で自由に遊ぶ」、やんちゃし放題の公園が増えれば魅力的ですね。



IT パーク



港区にはたくさんの IT 企業があります。また多くの方が子育てをしながら働いていらっしゃいます。企業に協賛していただき、Wi-Fi フリー、パソコンの貸し出しを実現し、親が仕事をしながら子どもを遊ばせられる公園をつくります。



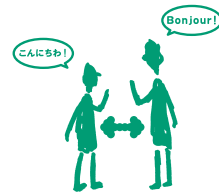
スポーツチームやアーティストによる地域の時間



スポーツチームやアーティストの事務所、伝統文化の活動拠点、それに外国からの方が多い港区ならではの特徴を活かして、教育現場に彼らの力を活用していきます。野球教室やサッカー教室、芸術や英語の授業を港区に住む有名人にやってもらえたら、きっと子どもたちは大喜びで勉強しますよね。



区内交換留学



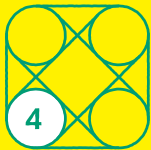
これからの社会で必要なのは、国際感覚を持った「グローバル人材」とは良く言われること。幸い、港区にはたくさんのインターナショナルスクールがあります。区立の学校との単位互換制度等も検討し、国際交流を活性化していきます。



ペットという家族と気持ちよく過ごせる街



ペットは人の心を癒してくれる、かけがえのない家族の一員です。ドックランの充実に加えて、ペットとふれあえるお店や施設を増やします。ペットと歩ける道を整備する一方、NPO などと連携して飼い主にはマナーをきちんと守ってもらえるように啓発し、動物が苦手な人も含めて人とペットが共存できる環境を整えます。



お年寄りの力を街に活かす場をつくる。

お年寄りにいつまでも健康でいていただくことは、みんなにとって嬉しいこと。何よりも「予防」を重視した施策をとります。また、「高齢者」とひとくくりにせず、希望する方は積極的に行政や街づくりに関われる環境をつくります。



スポーツ施設半額



お年寄りの方にいつまでも元気でいてもらうことは、街にとってもすごくありがたいことです。スポーツの力を利用して街の方との交流を生み、健康維持を促進します。港区に多数あるプロの団体にも協力してもらいながら、スポーツの講座や大会を充実させます。また、区内の65歳以上の方がスポーツ観戦をする場合は、その料金を半額にするだけでなく、お孫さん一人につきその料金を無料にします。



お年寄り大活躍の子育て施設



「アクティブシニア」の方々には教育や地域活性化などの分野で、これまでの知識と経験が活かせる場をつくります。例えば、保育現場の人手不足を補うべく、お年寄り大活躍の子育て施設の設置と拡充を検討します。お年寄りの方に関わっていただくことは、昔の学びや知恵、地域の話を子どもたちに伝えていくことにもつながります。

アクティブシニアとは？

いわゆる団塊の世代を中心とした、健康で、かつ社会と積極的に関わる意欲をもった方々のこと。仕事をしたり、NPOなどでボランティアをしたり、社会の中でまだまだやれる方々に、いかに街づくりに関わっていただくかが、行政の知恵の使いどころ。僕はずっとおじいちゃん子でしたが、祖父を通じて、近所のおじさんや町内会の方々から、街の成り立ちや戦争のことなどたくさんのことを学んだ記憶があります。コミュニティがどんどん希薄化している時代ですが、新しい形でそうした温かい関係をつくっていくことができれば、街の中で子どももお年寄りも気軽に交流できたり、そこから新しいコミュニティが生まれたりしたら素敵ですよ。



お年寄りを支える家族をサポート



お年寄りの方々とその家族を支える施設やサービス（ユニバーサルデザインを取り入れたスポーツ施設やふれあい施設、緊急通報・連絡システムの整備、介護家族の相互交流の場の提供など）を充実させます。お年寄りにとっていい街づくりは、その家族や子どもにとっての安心・安全にもつながります。誰もが暮らしやすい街を目指します。



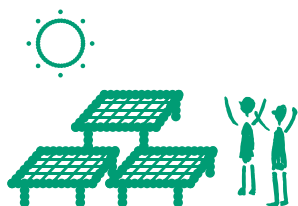
未来につながる環境などの新しい産業をおこす。

環境分野などで最先端をいく企業やNPOを積極的に誘致し、港区ならではの産業をおこします。

そこに多くの若者を巻き込むことで新たな雇用を生み出すと同時に、「社会起業家」もどんどん輩出していきます。



港区を環境先進区に



港区は環境に配慮した様々な取り組みを行っていますが、それをビジネスにつなげ、一大産業に育てることに挑戦したいと思います。既に始まっている屋上緑化に対する助成を推進するとともに、ソーラーパネルなどの新しいシステムを取り入れます。そうすることで、「区内の電力を区内でまかなう」ことにチャレンジするだけでなく、新たな雇用も創出します。また、海外の有力なベンチャー企業を招き、日本での事業をサポートすることで、彼らの新技術を取り入れていきます。



みなと3% グリーンクラブ



私も滞在した「ロハス」*発祥の地、アメリカはボールダーにならない、区内で支出するお金（歳出）の3%（＝約30億円！）を使って土地を購入し、企業やNPOなどの協力を得てそこに緑を植えていきます。毎年、毎年、街に少しずつ緑が増えていく仕組みです。街の空気がおいしくなるだけでなく、防災の観点からも優れたシステムです。また、緑を増やすことは、「ヒートアイランド現象」の抑制にもつながります。結果として、皆さんの電気代が節約できたら素敵ですね。

※ロハス・・・健康や環境に配慮して生活する人たちのライフスタイル



みなと オーガニック食堂



区営の食堂や給食などで提供する食材、イベント等で消費する食材を、オーガニックなものに替えていきます。野菜などは都内近郊の農家から購入し、輸送中に出るCO2の排出量を減らします。また、食堂で出た生ゴミは肥料にして農家に戻すことで無駄を減らします。そうすることで、子どもたちの環境意識を育むことにもつながります。

他にもたくさんのアイデアを考えています！

皆さんからのご意見やアイデアも
いただけると嬉しいです。

toshinari@ecotoshi.jp



横尾としなりのプロフィール

1981年3月3日、神奈川県横浜市生まれ。魚座、A型。

神奈川県立横須賀高等学校→早稲田大学人間科学部→早稲田大学院人間科学研究科

アメリカに留学後、9.11をきっかけに、自ら学生団体を立ち上げたり、
ユネスコなどのNGO・NPOでインターンやボランティアをしたりするようになる。

コミュニケーションの力でNGO・NPOや地域を盛り上げたいと、

2005年4月、広告会社の博報堂に入社。以来、港区に住む。

博報堂では、自動車メーカーや損害保険会社、アパレル、官公庁、NPOなどを担当する中で、
批判や批評ではなく、「アイデア」で語ることの大切さを実感する。

雑誌『広告』の編集委員も務めたほか、2009年には「社長賞」も受賞！

会社が赤坂に移転した直後、「会社も街に貢献するべき」との思いから、

仲間と「グリーンバード赤坂チーム」を設立し、リーダーを務めたのを経て、

現在、NPO法人グリーンバード・副代表 www.greenbird.jp

一般社団法人リベラルアーツ推進協会・代表理事



座右の銘

世界を動かそうと思ったら、
まず自分自身を動かせ。

好きなアーティスト

Mr.Children

詳しくは、<http://www.ecotoshi.jp> をご覧ください。

私たちは、横尾としなりを応援しています！



どんな仕事にも、気持ちを込めて真摯な姿勢で取り組む横尾さんなら、土壌は変わっても力を発揮し、必ずより良い社会を作ってくれます！応援しています！

湯本優 XTERRA・MTB プロアスリート／医師



『有事に強い男』『言葉よりも行動で示す男』『人助けをしたい男』。これが横尾としなりという男です。

野村滋 株式会社コンテンツ・ファクトリー代表取締役社長



横尾くんのように日々街づくりの活動現場でがんばる若い人が、政治の場でも活躍して、地域から日本を元気にしてくれることを期待しています。

佐藤大吾 NPO 法人チャリティ・プラットフォーム代表理事



横尾さんが熱心にボールダーの有力者と、街づくりの意見交換をしているのが印象的だった。ロハスの夢を是非実現して欲しいと思います。元港区住民として、応援します。

井沢敬 Izawa&ASSOCIATES 代表、『ソトコト』ボールダー通信員

マーケティング能力、ゴミ拾いを通して感じたこと、誠実さ、遊び心など横尾の武器は一杯ある。目指せ、街のプロデューサー！

長谷部健 グリーンバード代表／渋谷区議会議員



会社を辞め飛び込む彼の決意と熱意は本物！政治に興味の薄い若いリーダー達の心を動かしてくれると信じて！

和田真由美 ツイッター「麻布会」代表



子どもを育てる母として、保育環境を真剣に考えている若い世代の横尾さん、期待しています！

平山夢 港区在住のシングルマザー



横尾君は、仕事を楽しめる、なんでも前向きに吸収できる男。笑顔が可愛いが、しっかりと日本の未来を見据えている。浮ついていない。だから、こんな男に任せたいから会社を辞めるのを許しました。

泊三夫 株式会社博報堂 常務執行役員



アイデアが泉のごとく湧き出る横尾くんと新しい社会貢献活動案を模索して早8年。政策実行のときは来た！

山口博之 早稲田大学ボランティアセンター前事務長



学生時代からの旺盛な起業家精神とグリーンバードで培った協調性とリーダーシップが必ず港区をより良い方向に導いてくれると信じています！

西居豊 株式会社五穀豊稔代表・地域づくりコンサルタント



本気で社会を変えるために覚悟を持って行動している数少ない貴重な先輩。それなのに、本当の兄貴のような身近な存在です。

岩城大志 明治大学学園祭実行委員会 元実行委員長



忙しい中、時間をみつけてトレーニングに励む。そんな自己管理の出来る横尾くんに、是非港区の未来を任せたい。街の課題を解決するという使命を背負い走れるのは、鍛えられた彼しかない。頑張れ！

藤本佳宏 麻布十番の加圧トレーニング



子どもに向ける笑顔や眼差しの温かさ、子育て中のお母さんの悩みをメモをとりながら真剣にきいている姿がとても心に残っています。子育て環境を常に考え続けている姿勢と、行動力に、子どもに関わる者として、いつも助けられ、勇気をもらっています。応援しています！

小澤いぶき 小児精神科医



初めて会ったのは、彼が大学生の時。ボランティアで日々忙しく活動していました。賢く誠実に愛情深く、世界の今と将来をいつも考えている彼なら、世の中を変えていけると確信しております。

中村順子 早稲田大学留学生寮寮母



これからの政治家は経営センスが不可欠です。全国にネットワークを持つ NPO の現役経営者であり、大企業の営業マンとしての実績もある横尾さんだからできる港区改革を期待します。

池本修悟 NPO 事業サポートセンター専務理事／慶應義塾大学大学院非常勤講師



そんなに熱くなるなよと思うけど、横ちゃん見るとやっぱり熱いのっていいと思う。共に頑張ろうぜい。

杉山文野 シンヤ大学発起人／『ダブルハピネス』著者



見ていて恥ずかしくなるくらい、アツイ先輩でした。ちょっとやり過ぎるくらいのほうが、政治家としてはちょうどいいのかなって、思います。

和田将紀 グリーンバード赤坂チームリーダー



皆さん、横尾君と話して下さい。横尾君は人を大切にする若者です。若い人からお年寄りまで一緒になって港区から日本の未来を変えて欲しいと思います。

田中健一郎 博報堂時代の直属の上司



世界を見据えながら、地域の課題に真剣に取り組む横尾くんがきっと足下から日本を、世界を良くする！

丁寧 国際交流基金



横尾さんは、誰かの喜ぶ姿を、自分の喜びにできる人。『一緒にやろう』という言葉の似合う、素敵な人。

平澤慎也 ボーイズシンクロエンターテインメント INDIGO BLUE 代表／青山学院大学



横尾さんの周りにはいつも沢山の人が集まっています！僕もその一人。横尾さんのホンキ、信じていますよ！

八川周弘 成蹊大学広告研究会代表



横尾としなりは、夢想家であり実践家です。留学時代は、甘えん坊で、泣き虫で、お酒を飲むとすぐに酔いつぶれるちょっと頼りない20歳の青年でしたが、その頃から、理想が高く、自分なりのアイデアを次々と実行に移していったことをよく覚えています。僕は、そんな彼を友人として応援しています。

渡邊迅 アメリカへの留学仲間、弁護士



出会って3年。横尾としなりという兄貴の背中を見て僕は成長した。誰よりも近く、一緒にいたからこそ自信を持って言える。『やる！』と言ったら絶対に最後までやり遂げる男！それが僕の兄貴であり、港区から日本を変えられる男です。兄貴！また大好きなビールと共に港区や日本の未来について朝まで語ろうぜ。

福田圭祐 青山学院大学に通う僕の弟分



小学生の時、『クラスで一番公平な人』に全員一致で選ばれ、大学院では世界学生会議開催に尽力した俊くん。より良い街づくりに貢献、期待しています！

横尾京子 横尾としなりの母



and more・・・その他のメッセージは、僕のウェブサイトをご覧ください！

<http://www.ecotoshi.jp>